



# 米原市政に役立つ県政の実現へ

# 坪田さんの勝利で子育て・教育充実の滋賀をつくらう

本年7月13日投票の滋賀県知事選挙で「明るい滋賀県政をつくる会」は日本共産党県常任委員の坪田いくおさんを推薦候補者として戦うことを決定しました。

2期8年の嘉田県政は医療・福祉・子育て・教育に対しては国言いなりの冷たい県政でした。高等学校の統廃合問題、乳幼児の待機児童問題、市町村を巻き込んだ「滞納整理機構」の設置、福祉医療の現状等どれをとっても福祉や教育、子育てに積極的な県政とは言えません。

米原市では、小・中学生の医療費無料化や幼稚園・保育園の第2子以降の保育料の無料化、教育施設の充実に取り組んでいます。しかしこのような子育て支援策に対して反対する勢力もあります。嘉田県政の継承や自民党県政の復活では逆行の可能性もあり、子育て支援や教育の充実はできません。坪田勝利で真に福祉・教育充実の県政に変えることによって、より充実した米原市政の確立が可能となります。

以下は、明るい滋賀県政をつくる

会「県内の労働組合・民主団体・日本共産党で構成する団体」が発表した知事選基本政策の個別政策の骨子です。

## ストップ安倍暴走政治

明るい滋賀を作る5つのチャレンジ  
1、いつでもどこでもだれもが安心できる医療・介護・福祉充実の滋賀をめざします。

①誰でも何処でも安心して受けられる医療の実現を。

②公的責任で子育てを応援します。

③障がい者福祉トップの滋賀に

④お年寄りのくらしを支えます。

2、夢のある、暮らしを支える元気な経済を發展させます。

①中小業者の支援こそ、地域活性化のカギ。

②夢と希望を持って働ける滋賀に労働法制の改悪に反対し、安定雇用を拡げます。

③TPPから撤退し大小多様な規模の農家経営を応援します。

3、すべての子供がいきいきと学べる教育環境を充実します。

①競争教育の方向ではなく、少人数教育でいじめを克服します。

②安心して学べる教育環境の充実をはかります。

③民主的な教育をすすめます。

④国体のあり方を抜本的に見直し、県民のスポーツ振興に努めます。

4、原発ゼロの実現、地域の安全と環境を守ります。

①福井原発群の再稼働許さず、美しい琵琶湖を次世代に。

②命を守る防災対策を充実し、ダムにたよらない洪水対策をすすめます。

③安心して暮らせる優しい町づくり、住民の足を守る交通政策をすすめます。

5、安倍政権の暴走から、平和を守り憲法が生きる自治滋賀を作ります。

①滋賀から平和の発信を。

②憲法が生きる滋賀を發展させます。

③県民の暮らしを支え未来を切り開く県財政を確立します。

## 坪田いくおさんの略歴

坪田 五久男 1959年4

月1日生まれ。55歳。

県立彦根東高校卒業。滋賀大学教育学部卒業。近江八幡市立桐原小学校、八幡西中学校教諭を経て、1991年、日本共産党に勤務。現在、党滋賀県委員会の国民運動部長。

近江八幡市教職員組合執行委員、同書記次長、全教近江八幡市教職員組合書記長を歴任。現在、明るい滋賀県政をつくる会常任幹事、農事組合法人サン・燦ファーム理事。家族は妻、長女、次女、母。

ホームページ 日本共産党米原市議団で検索